

道内の感染状況等について (案)

【令和4年9月20日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
9/19	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	29.5% (666床) ↓	2.2% (3床) →	366.1人/週 (18975人/週) ↓	399.1人 (20687人) ↓	0.68 ↓	48.7% ↑	37.5% ↓
札幌市	2	39.0% (285床) ↑	6.1% (3床) ↑	388.4人/週 (7616人/週) ↓	453.2人 (8886人) ↓	0.73 ↓	48.5% ↑	47.9% ↓
札幌市を 除く地域	2	24.9% (381床) ↓	0.0% (0床) ↓	352.4人/週 (11359人/週) ↓	366.1人 (11801人) ↓	0.66 ↓	48.8% ↓	32.8% ↓
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※()は実数。

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

総評 ①

【全国の状況】

- 全国では、新規感染者数、病床使用率のいずれも減少傾向となっている。国の専門家からは、新規感染者数は、減少が継続し、本年2月のピークとほぼ同じ感染レベルとなったが、一部地域では、感染者数の減少の鈍化がみられる、と指摘されている。北海道においては、他の都府県と比較すると病床使用率は低い状況が続いている。新規感染者数の先週比は、これまで他の都府県に比べ、減少幅が小さくなっていたが、ここ数日は、他の都府県と同様の水準になってきている。

※参考：9月19日、新規感染者数先週比 東京0.86、大阪0.79、福岡0.64、沖縄0.60（北海道調べ）

【医療提供体制】

- 療養者数は人口10万人当たりで399.1人であり、減少傾向が続き、本年2月のピークを下回って推移している。病床使用率については、29.5%と、増減をしながら減少し、宣言前の水準を下回っている。また、札幌市については39.0%と、増加しているが、ここ数日は増減している。重症病床使用率は 2.2%と、低い水準で推移している。

【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは366.1人。本年2月のピークを下回って推移し、直近の最多である8月24日から約6割の減少となっている。年代別では、30代以下の割合が引き続き、約6割を占めている。

総評 ②

【今後の対策】

- 新規感染者数の減少傾向が続いているが、三連休が重なる時期となり、人の移動が活発になることから、「BA.5対策強化宣言」の下、引き続き、道民の皆様に基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種の検討について呼びかけるとともに、事業者の方々に感染防止対策と社会経済活動の両立に向け、取り組んでいただけるよう働きかける。
- 全数届出の見直しについては、「全数届出の見直しに向けた道の対応について(案)」(資料2)を取りまとめた。

具体的には、9月13日から、自己検査の結果を判定・登録する道の「陽性者登録センター」を全26道立保健所管内に拡大するとともに、22日には、陽性となった方が24時間利用できる健康相談機能を備えた「陽性者健康サポートセンター」を新たに整備し、26日からは、国が求める、いわゆる健康フォローアップセンターの機能として、一体的に運営する。

これらの機能を十分に発揮することで、医療機関等の負担を軽減しつつ、治療が必要な方を確実に医療につなげていくとともに、引き続き、自宅療養者への生活支援物資の無償配付や、病床、宿泊療養施設の確保など、多様な取組を効果的に進める。

こうした体制をしっかりと整え、自宅で療養される方をはじめ、道民の皆様が道内どこの地域でも安心して、必要な療養ができるよう、こうした対応方向に基づき、必要な取組を進めていく。

総評 ③

- こうした見直しへの対応について、発熱等の症状がある方や、陽性となった方が、円滑に相談や登録を行うことができるよう、周知を徹底する。また、その際には、分かりやすさなどに十分配慮しながら、若年層など利用が想定される方々に向け、多様な媒体を活用するなど、保健所設置市とも連携を図りながら、情報発信を行う。また、地域においても、地方本部の開催、市町村や関係団体と連携した情報共有などの取組を進めるとともに、地域住民への周知を図る。
- オミクロン株に対応したワクチンについては、9月12日に特例承認され、9月20日から接種が可能となる。今後順次、ワクチンが配送され、道内市町村においても準備が整い次第、接種が開始される。このため、引き続き、必要なワクチンの配分量や、10月以降の国のワクチン供給スケジュールなどの情報収集に努め、市町村や関係団体と共有しながら、円滑に接種が進むよう市町村への積極的な支援に努める。
- 北海道ワクチン接種センターについては、これまで、モデルナワクチン(3回目、4回目)やノババックスワクチンの接種を行ってきたところであるが、9月末までとしていた道の接種センターの設置期間を延長し、ノババックスワクチンの接種を促進するとともに、オミクロン株に対応したワクチンについても国の状況を踏まえ、接種体制を整備することとし、関係団体との詳細な調整を加速する。
- 無料検査事業については、10月末まで期間を延長することとする。

入院患者数と病床使用率（全道）

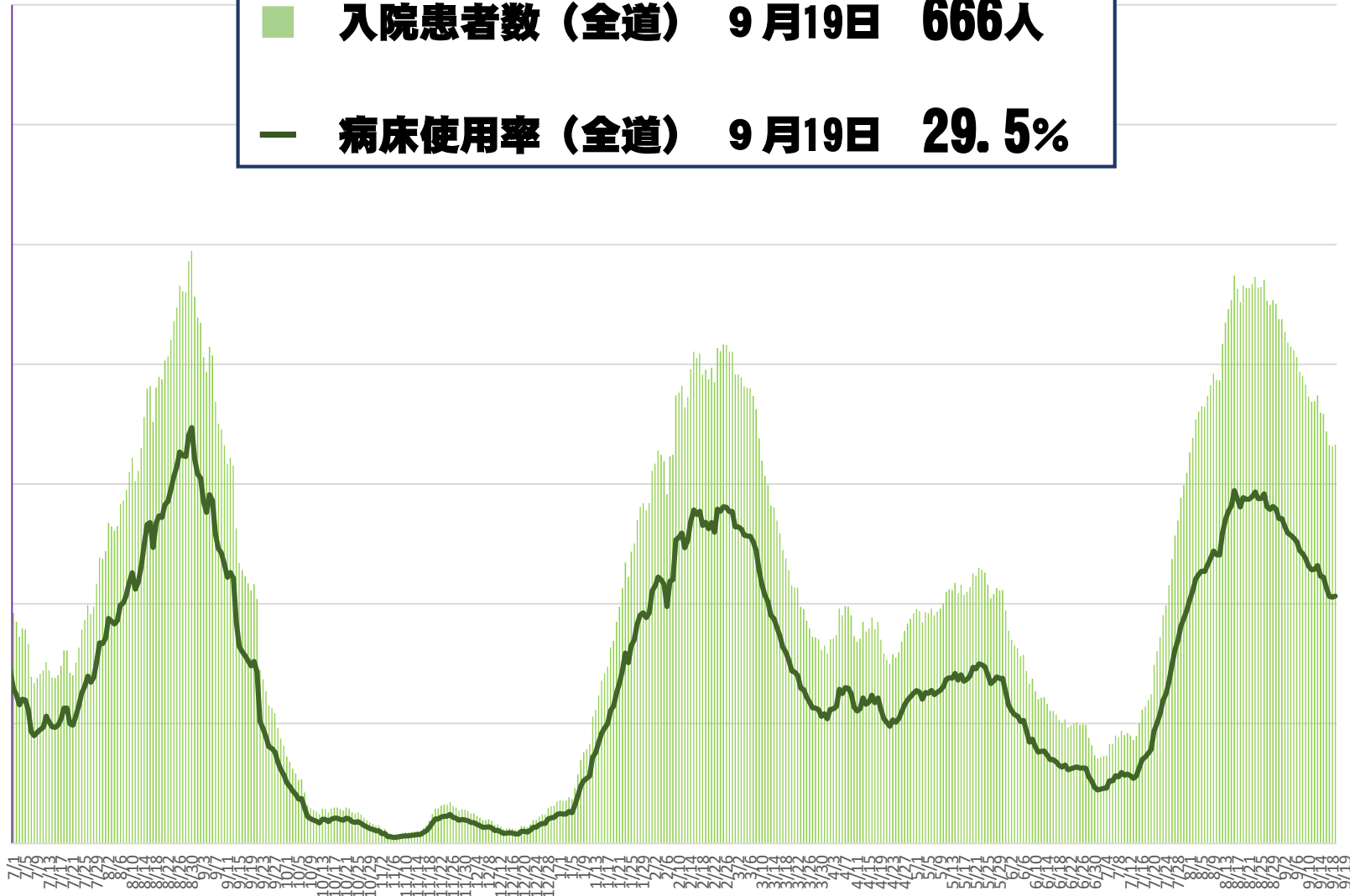
入院患者数（人）

病床使用率

1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

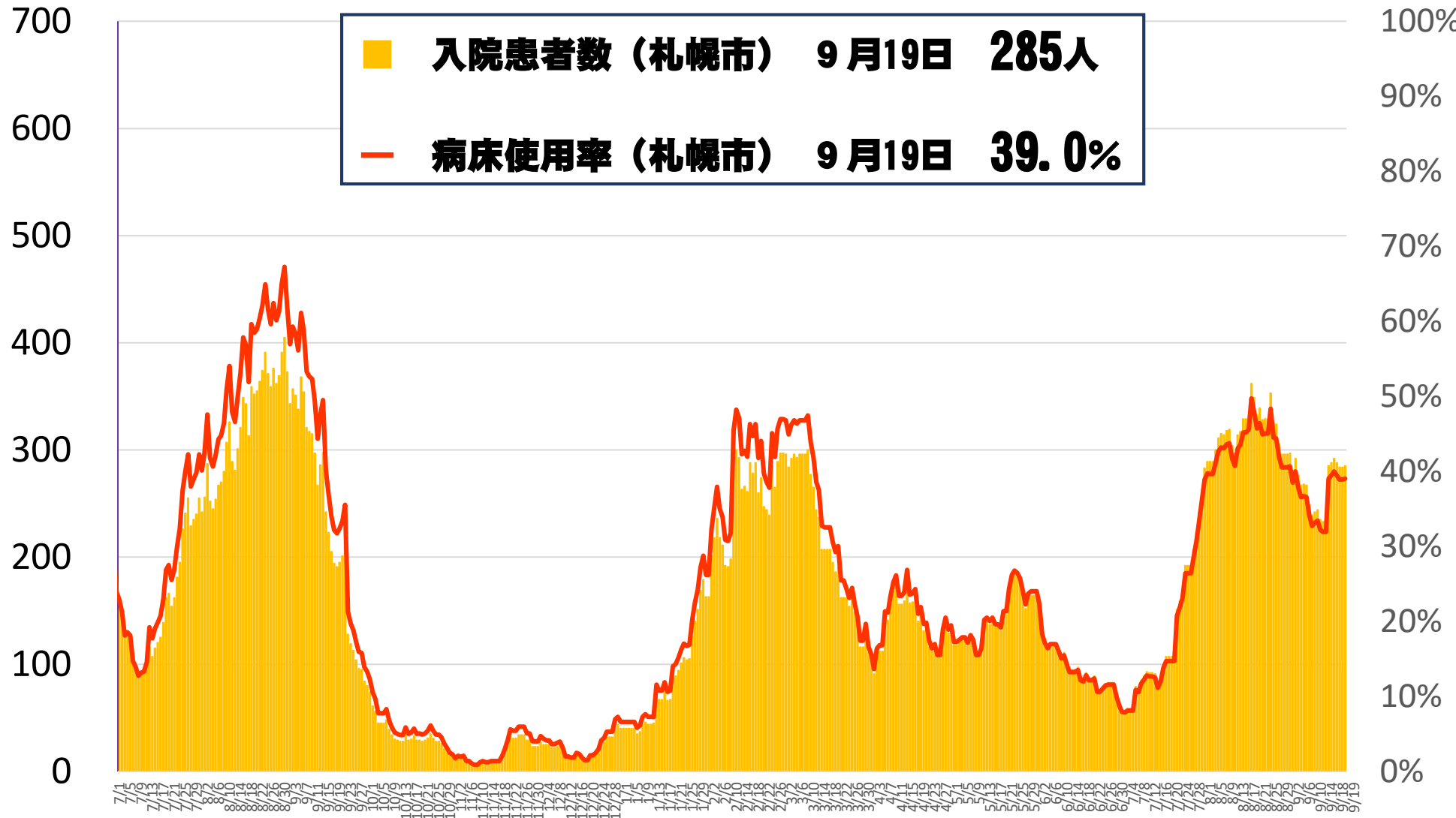
■ 入院患者数（全道） 9月19日 666人
— 病床使用率（全道） 9月19日 29.5%



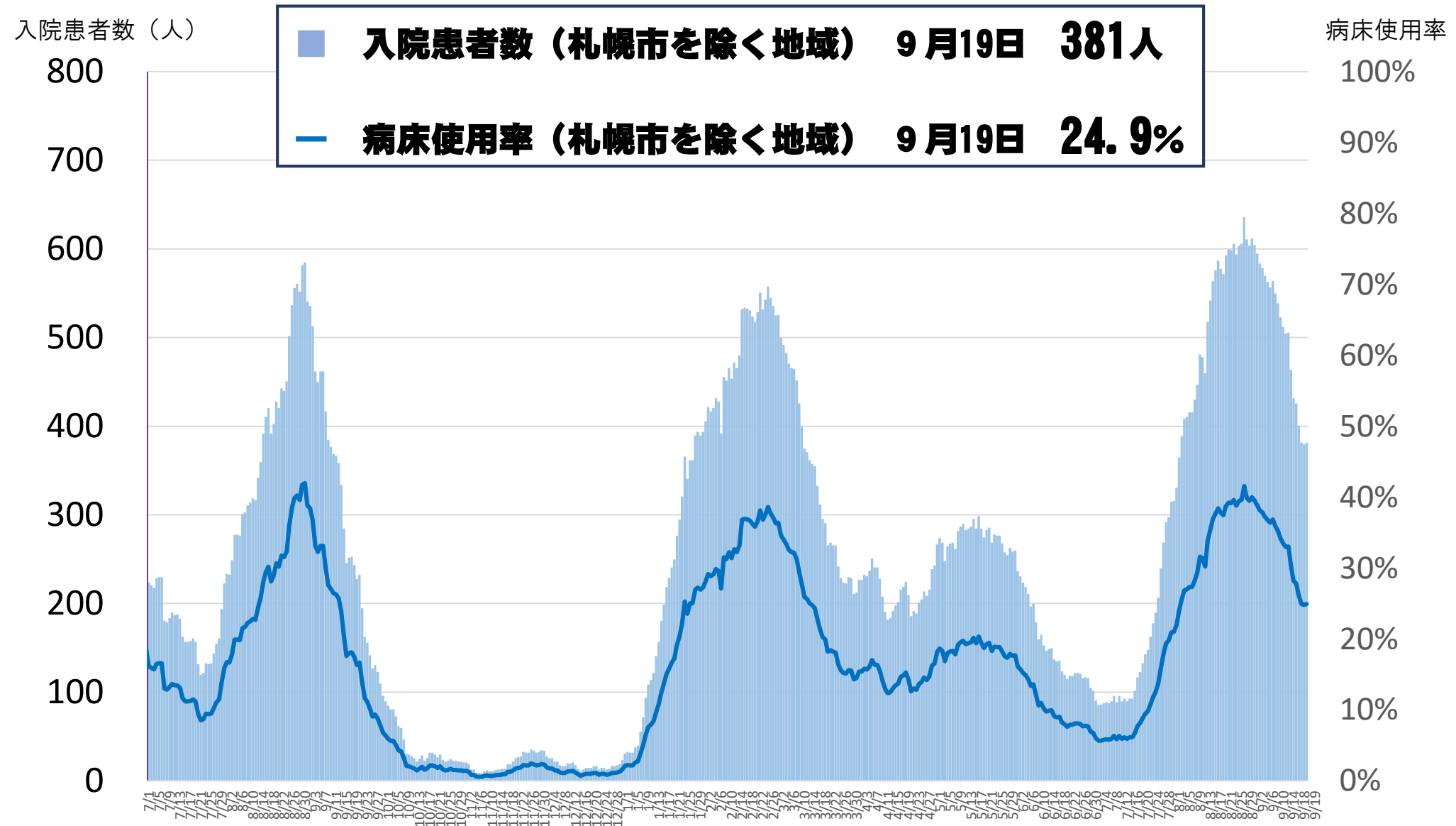
入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

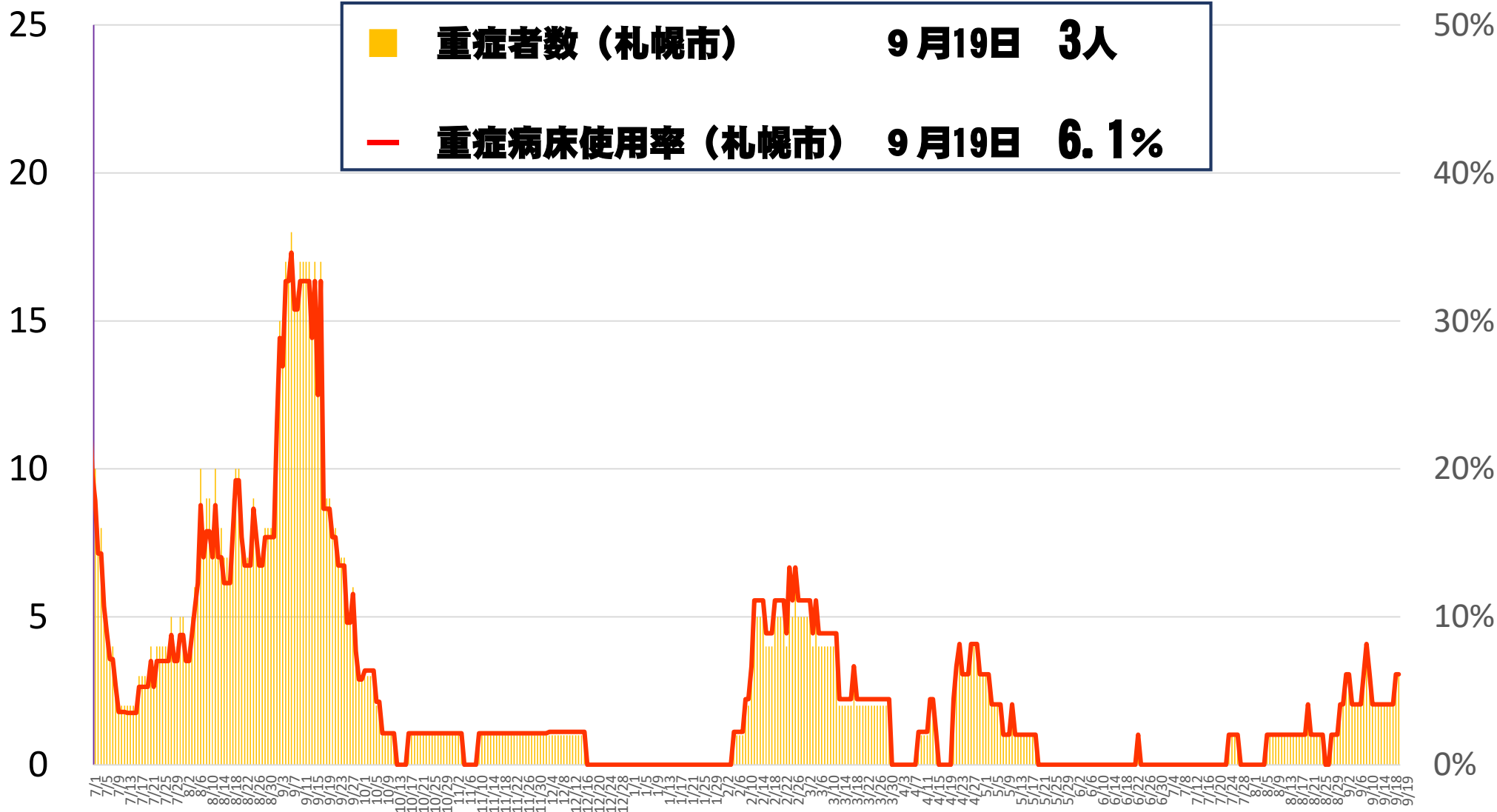
病床使用率



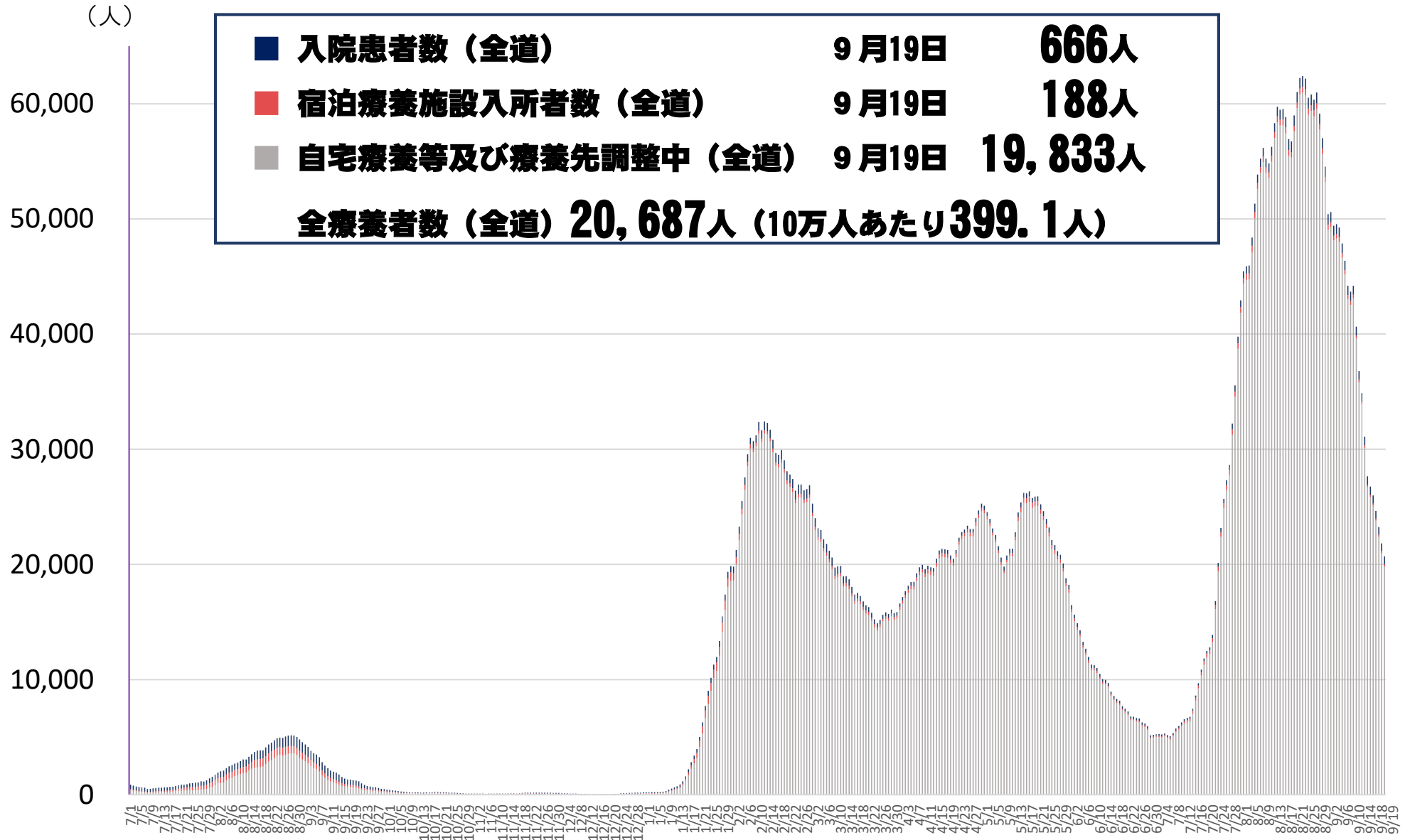
重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

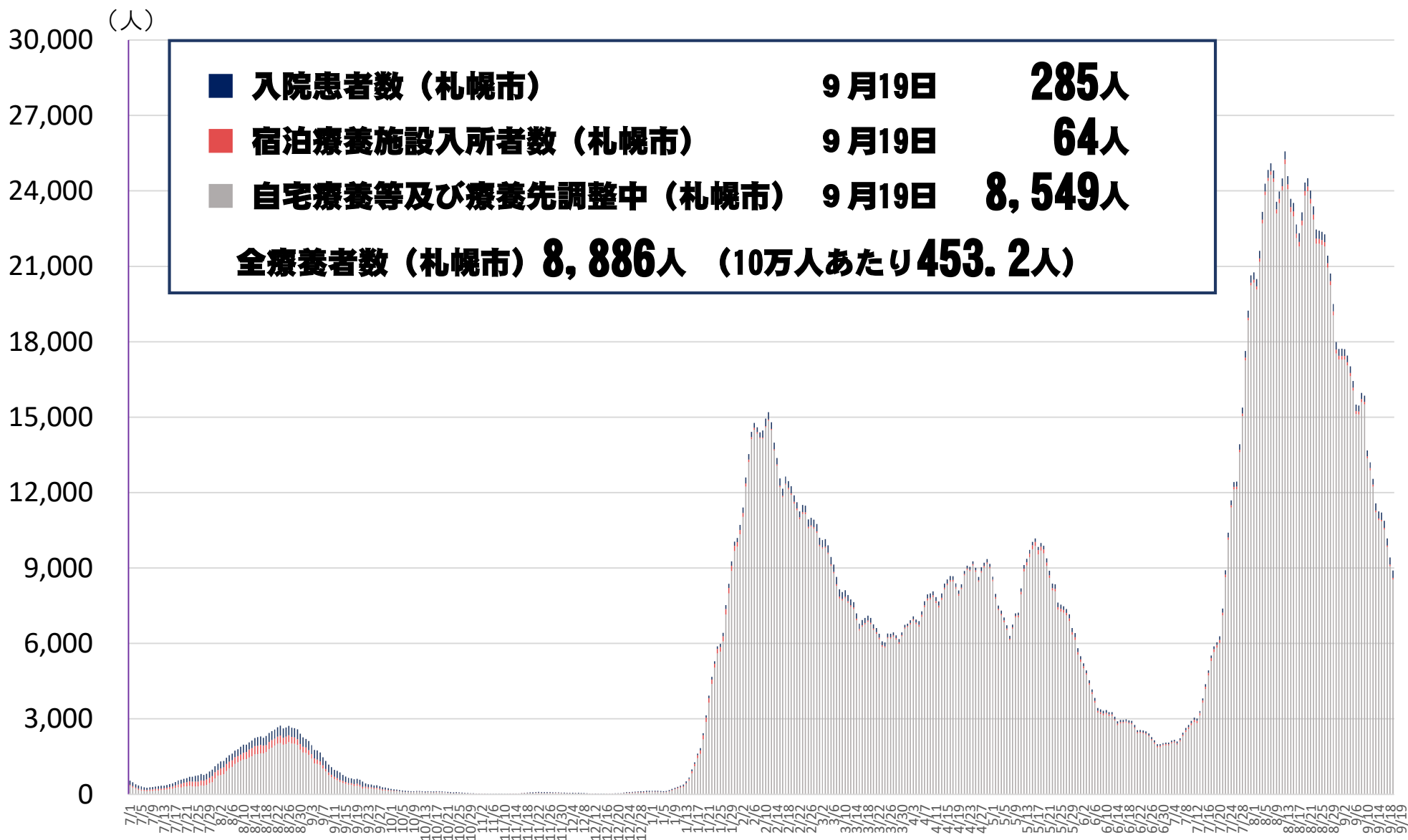
病床使用率



療養者数（全道）

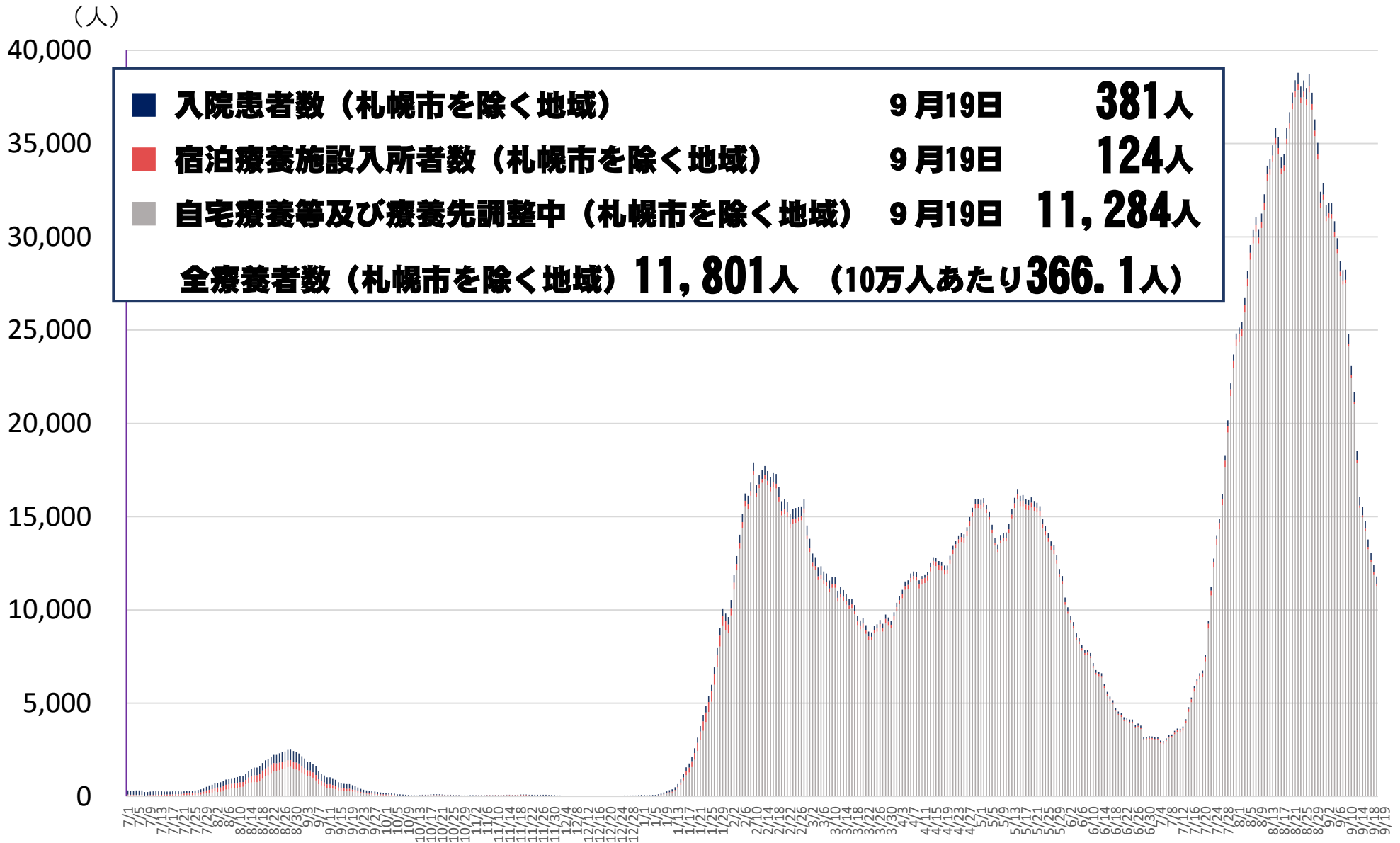


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）



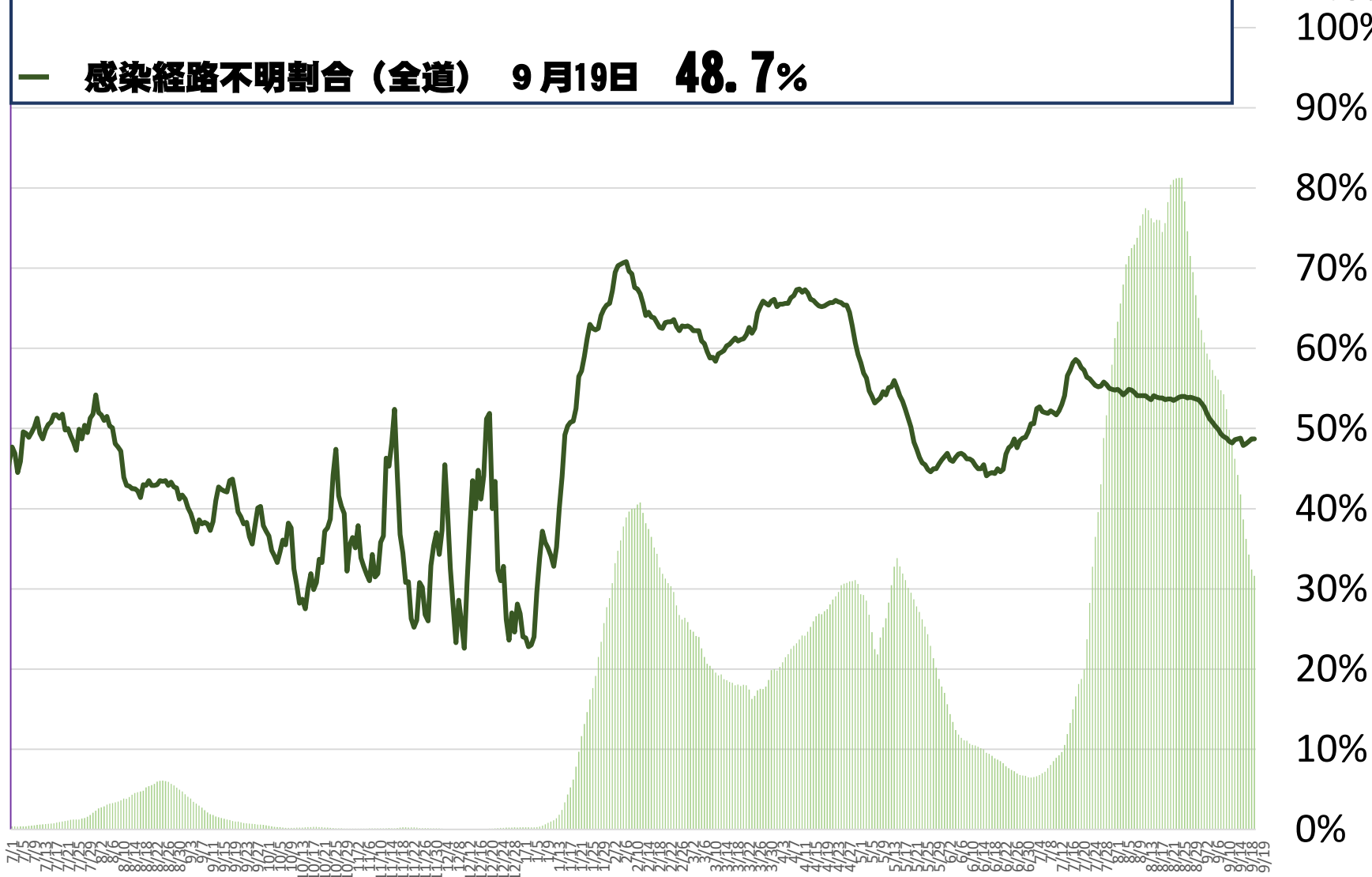
※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（全道） 9月19日 18,975人（10万人あたり366.1人）**
— **感染経路不明割合（全道） 9月19日 48.7%**

感染経路不明割合
(7日間平均)



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 9月19日 7,616人（10万人あたり388.4人）**

— **感染経路不明割合（札幌市） 9月19日 48.5%**

感染経路不明割合
(7日間平均)

25,000

100%

22,500

90%

20,000

80%

17,500

70%

15,000

60%

12,500

50%

10,000

40%

7,500

30%

5,000

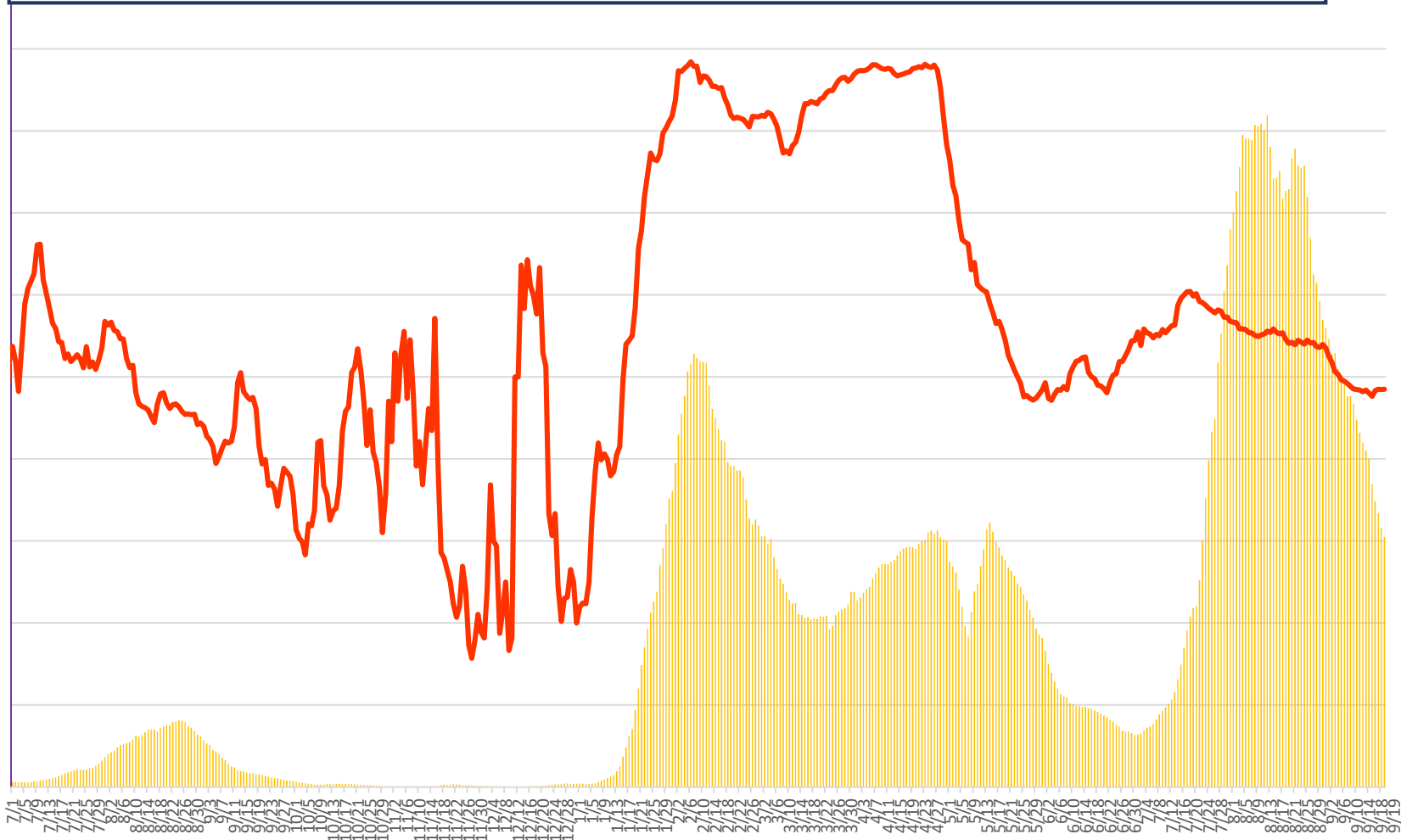
20%

2,500

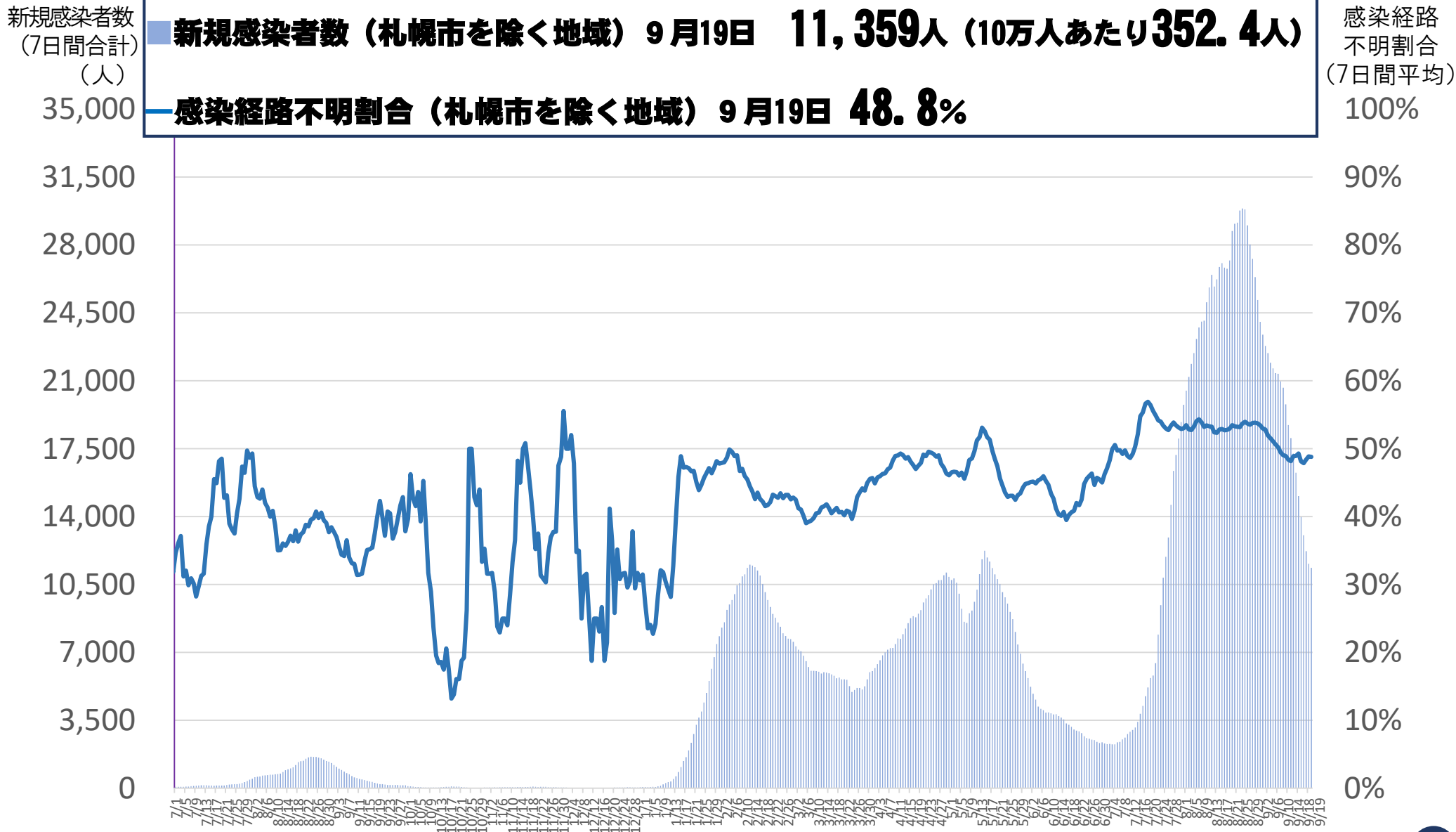
10%

0

0%



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）



検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

100,000

90,000

80,000

70,000

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

■ **検査数（全道）** 9月19日 **50,572人**
— **陽性率（全道）** 9月19日 **37.5%**

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

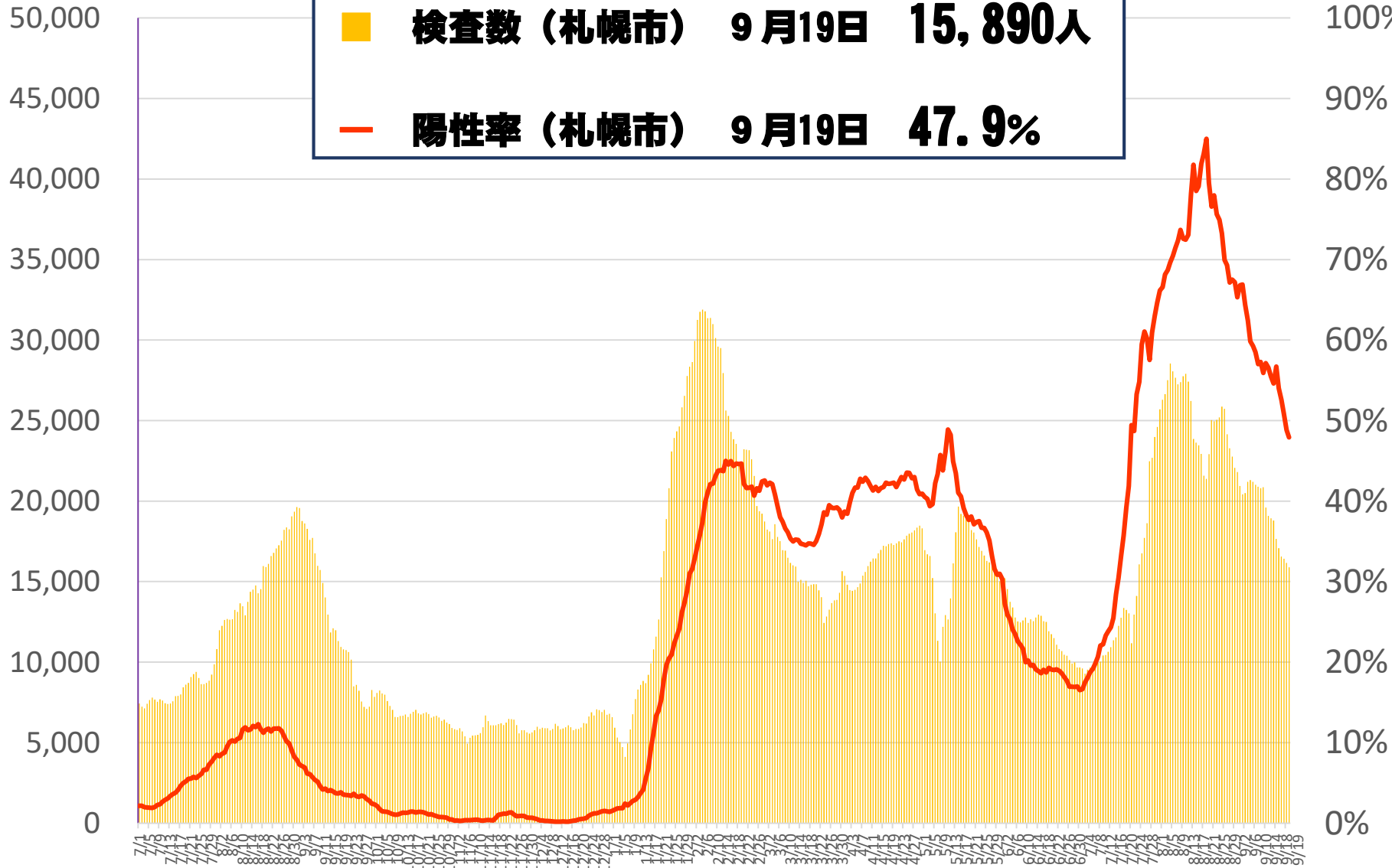
2023年9月19日

検査数と陽性率（札幌市）

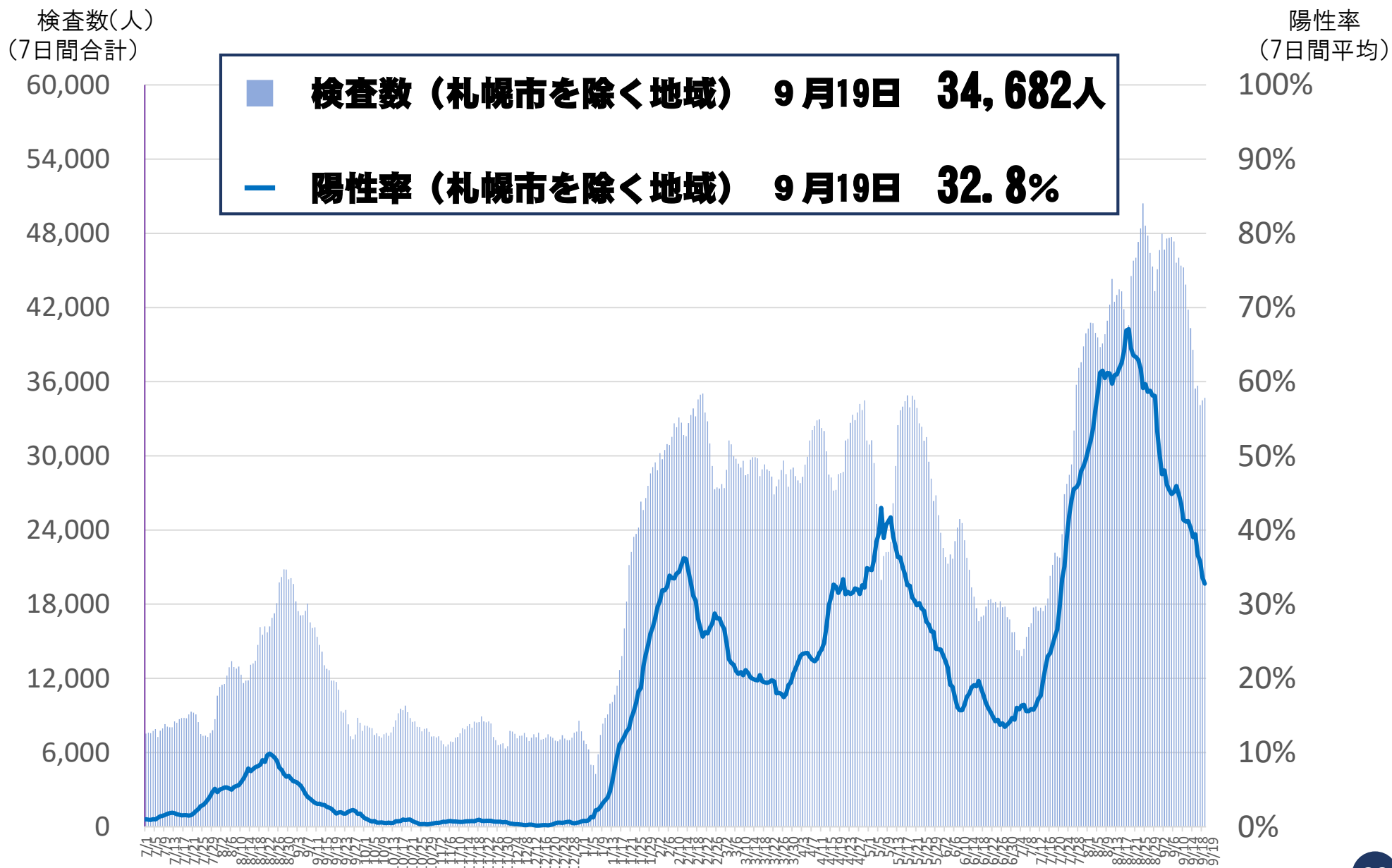
検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

■ 検査数（札幌市） 9月19日 15,890人
— 陽性率（札幌市） 9月19日 47.9%



検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



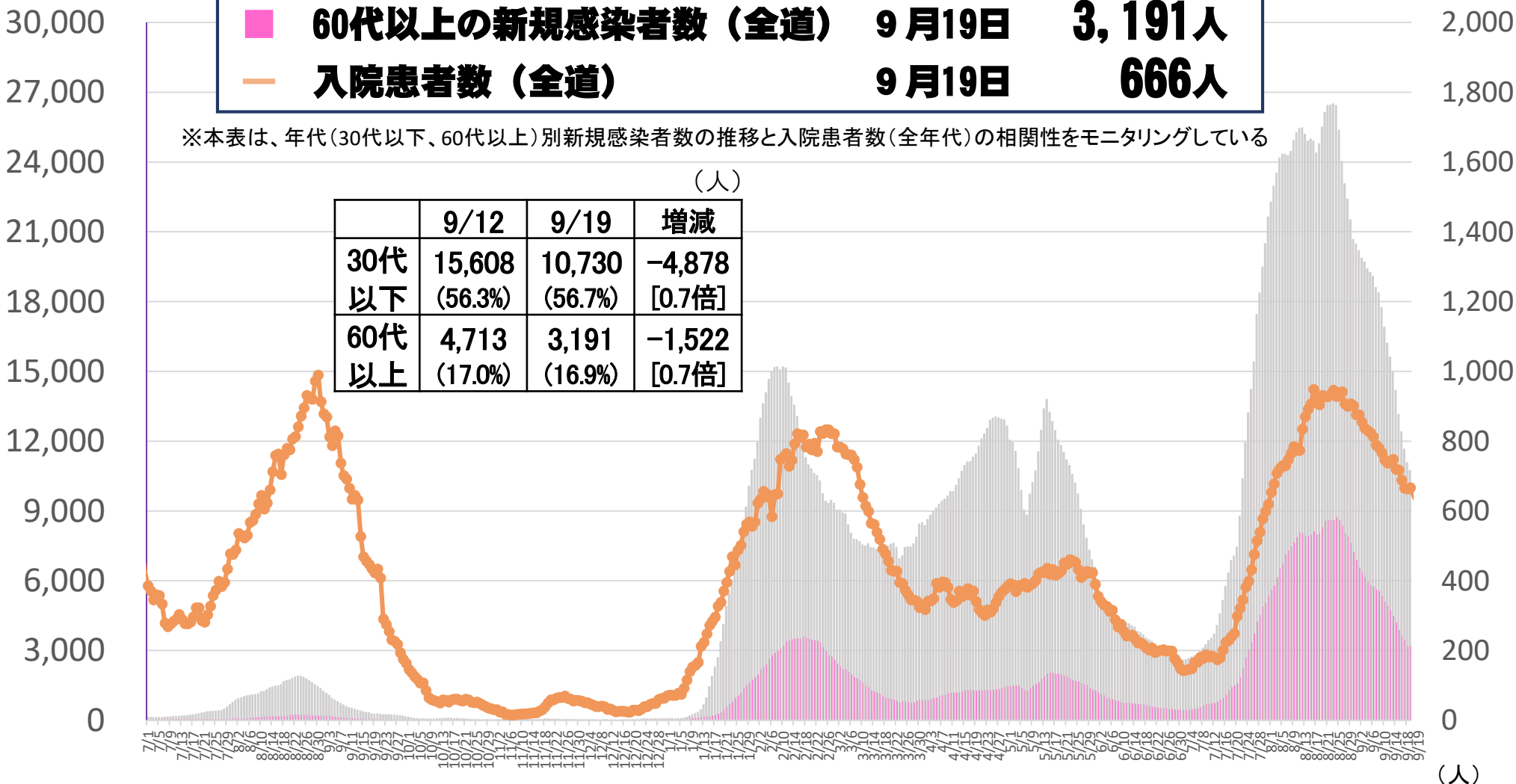
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	9月19日	10,730人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	9月19日	3,191人
—	入院患者数(全道)	9月19日	666人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	9/12	9/19	増減
10代未満	4,813	3,215	-1,598 [0.7倍]

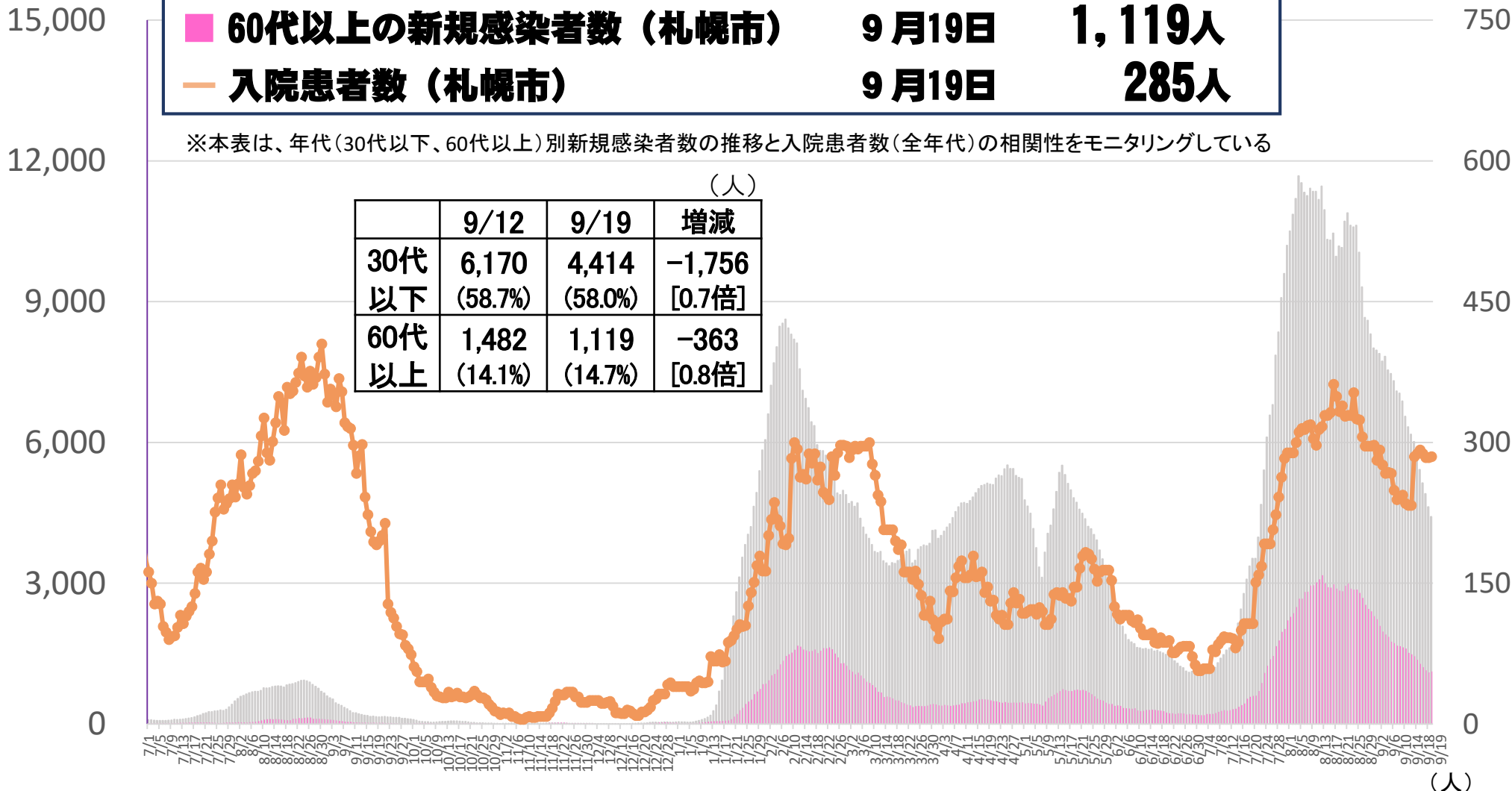
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	9月19日	4,414人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	9月19日	1,119人
— 入院患者数 (札幌市)	9月19日	285人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	9/12	9/19	増減
10代未満	1,940	1,283	-657 [0.7倍]

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

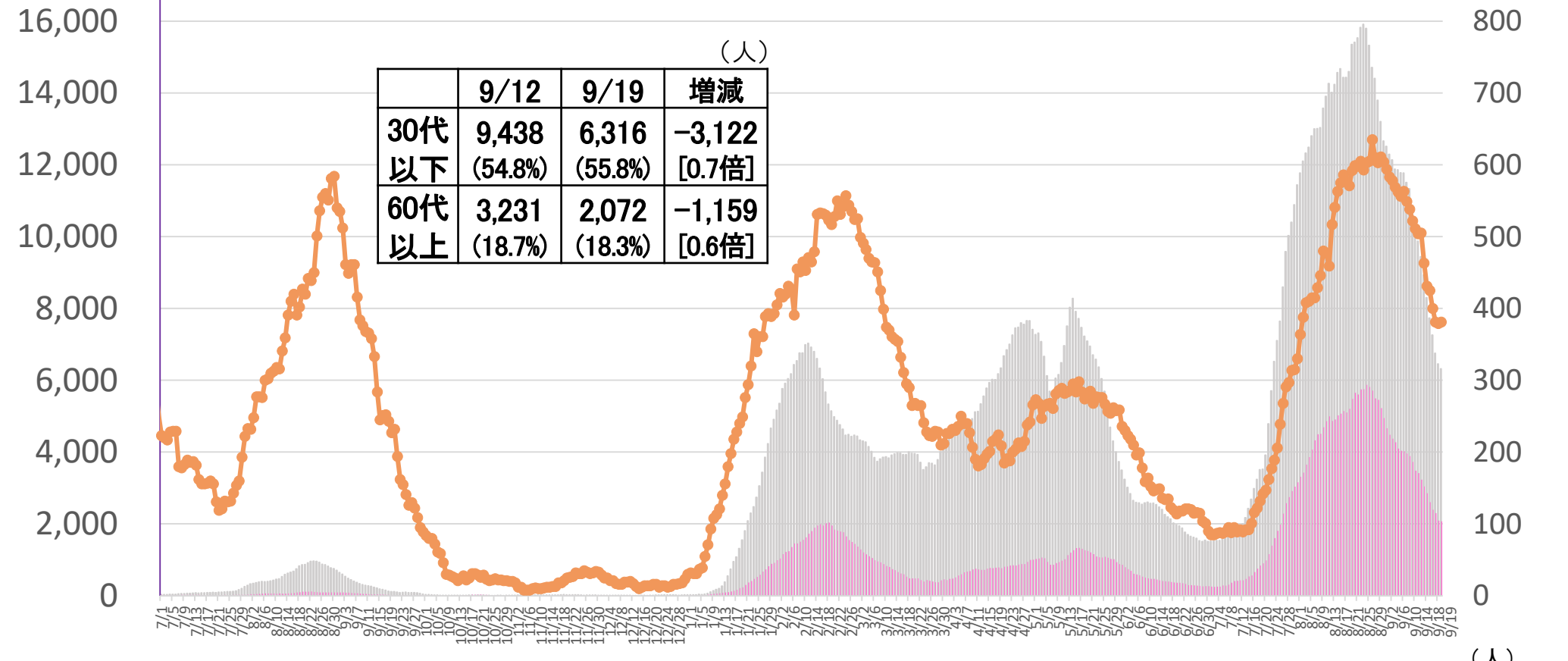
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

入院患者数
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	9月19日	6,316人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)	9月19日	2,072人
— 入院患者数 (札幌市を除く地域)	9月19日	381人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



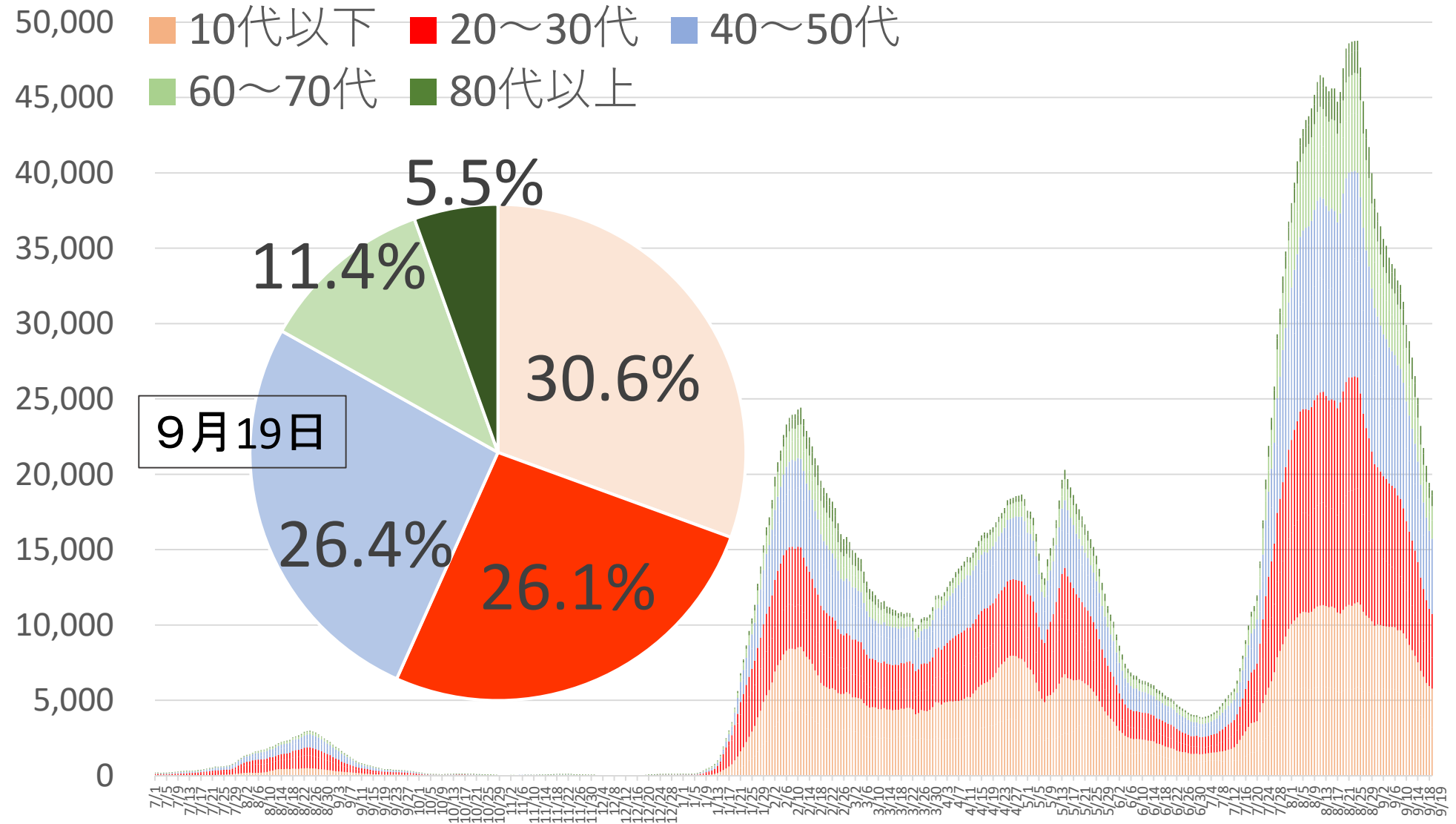
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	9/12	9/19	増減
10代未満	2,873	1,932	-941 [0.7倍]

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	8/30~9/5			9/6~12			9/13~19		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	76件 (1298人)	12件 (307人)	64件 (991人)	72件 (1070人)	15件 (277人)	57件 (793人)	50件 (479人)	10件 (111人)	40件 (368人)
札幌市	21件 (236人)	—	21件 (236人)	20件 (142人)	1件 (6人)	19件 (136人)	15件 (110人)	—	15件 (110人)
札幌市を 除く地域	55件 (1062人)	12件 (307人)	43件 (755人)	52件 (928人)	14件 (271人)	38件 (657人)	35件 (369人)	10件 (111人)	25件 (258人)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。9/15現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,498,010	67.5%
うち65歳以上	1,515,355	90.5%
(参考) 全国	82,001,133	65.1%
うち65歳以上	32,495,969	90.4%

<4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	1,497,522	—
うち60歳以上	1,306,476	65.0%
(参考) 全国	32,079,480	—
うち60歳以上	28,526,052	65.9%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む) >

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,335,924	83.7%	4,272,879	82.4%
うち小児	60,045	22.4%	55,961	20.8%
(参考) 全国	104,182,846	82.7%	102,758,472	81.6%
うち小児	1,474,235	20.2%	1,367,103	18.7%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。9/15現在)

<3回目接種の状況>

区 分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率 (9/11現在)
		3回目	3回目
12～19歳	338,481 (6.5%)	40.3%	40.1%
20～29歳	454,762 (8.8%)	53.3%	51.2%
30～39歳	532,389 (10.3%)	55.5%	55.1%
40～49歳	715,550 (13.8%)	63.9%	63.7%
50～59歳	705,275 (13.6%)	77.2%	77.4%
60～64歳	335,730 (6.5%)	84.7%	85.1%
65歳以上	1,674,286 (32.3%)	90.5%	90.4%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 オミクロン株に対応した新型コロナワクチン(特例臨時接種)

- オミクロン株に対応した新型コロナワクチンについては、予防接種法上の特例臨時接種に位置付けられるとともに、その対象者や接種間隔等についても決定された。また、実施期間についても令和5年3月31日まで延長された。

<オミクロン株対応ワクチンの概要>

区分	ファイザー社製	モデルナ社製
ワクチンの種類	m-RNA(2価:起源株/オミクロン株BA.1)	
接種対象者	初回接種を終了した、 <u>12歳以上の者</u>	初回接種を終了した、 <u>18歳以上の者</u>
接種間隔	前回の接種から少なくとも5か月経過した後 ※ 今後、海外の動向、有効性、安全性等の情報を踏まえ、接種間隔を短縮する方向で検討し、10月下旬までに結論を得ることとされている。	
接種の効果	オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る <u>重症化予防効果</u> とともに、持続期間が短い可能性があるものの、 <u>発症予防効果</u> や <u>感染予防効果</u> も期待される。	
接種の安全性	副反応については、どちらのワクチンも <u>従来型ワクチンと概ね同様の症状</u> が見られ、主な症状としては、注射部位疼痛、疲労及び頭痛であり、ほとんどが軽症又は中等度とされている。	

出典:第37回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料より

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 オミクロン株に対応した新型コロナワクチン(接種体制等)

○ オミクロン株対応ワクチンの接種については、9月20日(火)から順次開始され、現行の4回目接種対象者で、未接種の方から実施。道としても、円滑な実施に向け、市町村と連携し取り組む。

区分	内 容
接種の目的	重症化予防はもとより、発症予防、感染予防を目的
接種対象者	初回接種を完了した12歳以上の全ての住民
接種の時期	令和4年9月20日(火)～令和5年3月31日(金)
接種の順位	① 現行の4回目接種対象者で、未接種の方 ② ①の一定の完了が見込まれた市町村は、他の初回接種終了者(※) (※)接種の実施順は、社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代順など、 地域の実情に応じて自治体が判断
接種方法	オミクロン株対応ワクチン接種は 一人1回の実施
交互接種	前回の接種時に用いたワクチンの種類に関わらず、ファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応ワクチンによる追加接種を行う。
配送スケジュール	当面の割り当て分は、9月19日の週から10月中旬にかけて各市町村へ配送